

# 石山温泉 松乃荘

Ishiyama Onsen Matsunosou  
(滋賀県大津市)



私は小学 6 年生から高校卒業まで滋賀県大津市に住んでいた。実は大津市の石山と言えば、いやな思い出しかない。膳所高校時代、1 年間だけ在籍した柔道部で、とんでもない目に遭ったのである。当時の夏の合宿会場は東レの工場内にある道場であった。そこには東レ柔道部、滋賀県警柔道部などの巨漢がうじゃうじゃおり、60kg 台であったヒョロヒョロの私をおもちゃのように投げ飛ばし、容赦なく押さえ込み、あごの皮膚が擦り切れて出血するまで締め技をかけまくったのである。今から考えると、これは拷問である。鍛錬などというものでは決してない。

そんな嫌な思い出しかない石山であるが、今回はいい思い出を作りたに石山へやってきた。石山は、源氏物語を描いた紫式部が住んでいた石山寺、東海道の要所である瀬田の唐橋、琵琶湖ブルーを実現した唐橋焼などが有名だ。そして、今回紹介するのは、石山に 2 つしかない温泉宿の一つ、松乃荘の風呂だ。

石山観光を一通り楽しみ、心地よい汗を流した後、松乃荘の風呂へ。松乃荘の風呂は 1 階にあり、脱衣室には 20 人分の棚がある。棚には 8 個分の籠がある。貴重品を入れるロッカーも 4 個ある。洗面台、ドライヤー、乳液、化粧水、ヘアリキッド、シェービングフォームも完備している。

浴室はシンプルだ。洗い場が 5 か所と、浴槽以外は何もない。洗い場にはリンスインシャンプー、ボディソープ、シェービングフォームが完備されている。カランはサーモスタット混合栓で、自閉式。水圧は十分である。浴槽は定員 6 人ほどで、適温。湯の色は無色透明。浴槽の外には坪庭も見える。タイルは落ち着いた色で高級感もある。

16:00 頃入浴したが、他の客はおらず、貸し切り状態だった。夕食は近江牛のすき焼き。やわらかい肉を心ゆくまで堪能し、部屋に戻ると、京都駅で買い込んだ京都の地酒を楽しんだ。翌朝は 5:40 頃、松乃荘の前を通る京阪電車の始発列車の音で自然に目覚め、そのまま入浴。これまた貸し切り状態で、

石山温泉を独り占めした。

尚、この界限は料亭が多く、松乃荘も、日帰り入浴の他、法事などの親戚同士の集まりや、近所の集まりで利用されているようだ。

温泉に近江牛。おかげで贅沢な休日を過ごせた。これで嫌な思い出しかなかった石山に、約 35 年ぶりに借りを返せた気分である。今の柔道部はあのような愚かな練習をしていないことを祈りつつ、嫌な思い出はきれいさっぱり忘れることにしたい。



石山寺正門



その名の通り石が多い石山寺



瀬戸の唐橋



唐橋焼

DATA

名称	石山温泉 松乃荘
所在地	滋賀県大津市石山螢谷 3-31
電話	077-537-0069
営業時間	チェックイン～22:30、6:00～9:00
定休日	年中無休
入浴料	750 円
サウナ	なし
サウナ内のテレビ	なし
取材日	2019 年 5 月 18 日 (土) ～19 日 (日)
取材	銭湯愛好会東京支部